



和歌がま

No.36

和歌山県精神保健福祉センターだより

2008年8月

「和歌山県精神科病院協会長に就任して」

医療法人郷の会紀の郷病院 理事長 田中 敬造

平成20年5月に開催された定例総会で、2期4年間会長を務められました野上厚生総合病院の上野半兵衛先生のを引き継ぐことになりました。副会長には日高総合病院の今出徹先生にお願いをし、5名の理事の先生をはじめ会員の方々と精神保健医療に於ける会務を遂行する所存でございます。

ところで、聖域なき構造改革という美名のもとに我が国の医療供給体制が改悪され、ご承知のように医師不足（偏在）・救急のたらいまわし・医療格差・病院閉鎖など医療崩壊というべき医療実態が進行しています。さらに患者負担の増大の問題も加わり、誰もが、安心して、何処でも、平等に、医療を受け健康に社会生活を営むことを理念、使命としてきた我が国の医療構造が根幹から揺らいでいます。

精神科医療体制もこの雪崩のような医療崩壊に呑み込まれていることは言うまでもありません。国は、諸外国に比して精神科病床が非常に多いこと、平均在院日数が長いこと、多数の社会的入院患者がいることなどを理由に病床数の大幅な削減を実施する政策を提示しています。しかし、いままで地域であるいは家族として患者さんの支援のため尽力されてきた方々の苦労を考えると、退院する患者さんを受け入れる地域社会での社会資源・マンパワー・仕組み・財源が、諸外国と比べ未整備と言わざるを得ません。社会保障費の伸びを如何に抑えるかという観点から机上の算術で作成される政策には医療実態、医療現場、患者・家族実態などを把握された心の通った内容は反映されないことは至極当然です。

精神科医療領域での難問は多く存在しています。精神科救急システム・急性期精神科治療・地域支援体制・平均在院日数短縮・マンパワー・医療経済など枚挙にいとまがありません。私たちは、現在のストレス社会・格差社会の闇の中から3万人超の自殺者・引きこもり・うつ病・認知症など心病む人々が懸命に送り続けている救助信号に向き合い専門職として応える責務があると考えています。

和歌山県内の精神科病院は公立病院を含め13病院、病床は2369床であり、全国的にも最も少ない県のひとつであります。従って、病院間での協力、協調関係を築き会務を遂行することで精神保健、福祉に少しでも寄与できることを願っています。

今後共、精神科病院協会の活動にご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

もくじ

- P 1 和歌山県精神科病院協会長に就任して
- P 2 第56回 精神保健福祉全国大会
- P 3 デイケア、作業所合同チーム「DREAM NOAPS」どりーむ のーぶす
- P 4 ところがほっとするメッセージ募集中/NHK受信料について
- P 5 メンタルヘルスニュース
- P 6 は一とふるネットワーク
「東牟婁圏域障害者就業・生活支援センター「あーち」坂本真一さん」
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

5(073)435-5194 FAX(073)435-5193

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/>

今秋、本県で開催される全国大会について紹介します。

第56回精神保健福祉全国大会概要

大会テーマ「こころがつなぐ地域の輪－あたり前の暮らしを目指して－」

1 大会趣旨（要約）

精神障害者が社会参加や自己実現をできる地域の創造に向け、精神保健福祉に関する正しい知識の普及と新たな精神保健福祉施策の推進を目指します。

2 開催年月日 平成20年10月24日（金）午前10時から午後4時まで

3 開催場所 アバローム紀の国（和歌山市湊通丁北2-1-2）
* ご来場の際、会場及び周辺の駐車場数が限られているため、公共交通機関をご利用ください

4 主催・共催 主催：厚生労働省、（社）日本精神保健福祉連盟
共催：和歌山県、和歌山市、和歌山県精神保健福祉協会、和歌山県精神科病院協会、（社）日本精神科病院協会和歌山県支部

5 大会プログラム

[午前の部]

- (1) 記念式典 10:00～11:00
- ① 前回開催県（富山県）から「心をひらく鍵」の引渡し
 - ② 開会の言葉、式辞、あいさつ
 - ③ 表彰 [精神保健福祉事業功労者表彰]
 - ・厚生労働大臣表彰
 - ・（社）日本精神保健福祉連盟会長表彰
 - ・和歌山県知事表彰
 - ・和歌山県精神保健福祉協会会長表彰
 - ④ 祝辞
 - ⑤ 次回開催県（秋田県）あいさつ
- (2) 記念講演 11:05～12:20
テーマ：
『街で暮らしたい』を応援するために～ACTの実践から想うこと～
講演：西尾雅明氏
(東北福祉大学教授)

[午後の部]

- (3) アトラクション 13:20～13:50
- (4) シンポジウム 14:00～15:50
テーマ：
地域で進める社会参加と自己実現
コーディネーター
北端裕司
(和歌山県精神保健福祉センター所長)
- シンポジスト
森口智史氏
(医療法人宮本会紀の川病院
地域生活支援部長)
- 江上直子氏
(社会福祉法人一麦会麦の郷
和歌山生活支援センター長)
- 北山守典氏
(社会福祉法人やおき福祉会
すまいる所長)
- 当事者（未定）
指定発言者
上野半兵衛氏
(国保野上厚生総合病院副院長)

昼休憩中に、映画『ふるさとをください』のメイキングを上映します。

お問い合わせ先 第56回精神保健福祉全国大会実行委員会事務局（和歌山県障害福祉課内）
TEL 073-441-2641

このコーナーでは、シリーズで県内の組織やグループの活動を紹介します。

デイケア・作業所合同チーム

祝 ど り - む の - ぶ す DREAM NOAPS 近畿大会銅メダル!!



昨年の和歌山県大会で見事優勝し、今年6月初旬、奈良県橿原市で行われたソフトバレーボール近畿大会に出場し、見事3位を勝ち取ってきました!!

このチーム名は、ピア下津の職員が、NOKAMI (野上) の「NO」とASUNARO (あすなろ) の「A」とPIASIMOTU (ピア下津) の「P」に仲間がたくさんいるということで「S」をつけ、夢を持ってということで「DREAM」を付けて、名付けてくれました。

あれから、2ヶ月たった今、こういう機会を頂き、選手、応援団、職員みんなに感想を改めて書いてもらいました。みんなと笑ったこと、くやしかったこと、いろんな気持ちを共に仲間と味わって本当に良かったと思います。(野上 見形)

以下、あすなろ=あすなろ共同作業所

ピア=ピア下津作業所 野上=野上厚生総合病院

- 各県の強いチームが集まると聞いたので勝てるかなと思ったのですが、結果3位になれて、メダルももらえたので大変嬉しく思っています。(野上)
- みんなのおかげで楽しくプレー出来ました。またみんなとバレーボールがしたいです。(野上)
- 近畿大会の応援に参加して。まず銅メダル取れてよかったです。障害者でもやればできるんだと思いました。あと、奈良までの道中、本当に楽しかった。来年も行けるといいね!! (野上)
- 平成20年6月4日の近畿ブロックソフトバレーボール大会で全10チーム中、銅メダルを頂きました。ノーブスのみんなとても強いから、メダルを取れるだろうと思っていましたけど、とてもうれしかったです。次のソフトバレーボール大会でもメダルを取るように頑張りたいです。(野上)
- 負けると思っていたけど勝って3位に入ってくれしくて言葉にならない。(野上)
- 練習した結果が近畿大会3位になったんだと思います。(野上)

- 今回あすなろ共同作業所では初めてのバレーボール参加でした。野上厚生病院のデイケア、ピア下津のメンバーと交流を主な目的として参加したのですが、まさか近畿大会に行ける成績を残せるとは思っていませんでした。近畿大会では1チームに統合し、パワーアップしたドリームノーブスで挑みました。3施設が一緒に練習するのは時間の関係上、週1回で十分ではありませんでしたが、選手全員がコートに立ち、銅メダルをもらえ、達成感を得られた大会でした。参加した選手からも良かった、これからも頑張っていきたい、楽しかったと感想が聞けました。次も県大会で優勝し、近畿、全国大会を目指していきたいと思います。

(あすなろ)

- 最初は緊張して、正直みんなの足を引っ張ってしまい、申し訳ないと思ったけど、岩本さんのアドバイスをもらってから、緊張もとけて、それでも足を引っ張ってたけど、それからは楽しくのびのびやれました。(あすなろ)
- 出番は少なかったけどいい結果が出せてよかったです。これから先もいい結果が出せるように頑張っていきたいです。(あすなろ)
- 出られて良かったです。奈良まで行けてよかったです。(短くてすみません) (あすなろ)
- サーブがまぐれで(?)たくさん決まってうれしかった。自分の力だと思えなかった。他のメンバーがフォローしてくれたので良かった。それが勝利につながったのではないかと思います。(あすなろ)
- やりがい、目標が生まれてよかったです。(ピア)
- 練習を通して交流ができ、試合にも出られて良かったです。(ピア)
- 県大会からみんなが一致団結し、近畿大会で3位になれたと思います。次も出られるようにしたいです。(ピア)

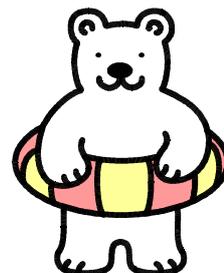


今年の精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会は、11月28日(金)に開催予定です。

後日、募集をしますので、ふるってご参加ください。

(精神保健福祉センター)

「こころがほっとするメッセージ」を 募集しています



毎年募集時に登場して
もらう『くまさん』です。

募集期間 平成20年9月24日（水）まで

賞 優秀賞 1名（賞状・副賞3万円）

入賞 若干名（賞状・副賞5千円）

（副賞は、小・中・高校生には同額の図書カードです）

*副賞は、和歌山県精神保健福祉協会から贈呈します。

趣旨 普段の生活の中で、こころがほっとするメッセージを5・7・5の17文字に
つづってもらい、こころの健康を見つめ直す機会を提供します。

1人3点以内の応募とします。

応募資格 和歌山県内に在住、または県内に通勤・通学している方

応募方法 作品に氏名・性別・年齢（学校名と学年）・住所・勤務先・電話番号を記入の上、
当センターまで郵送、FAX、メールにてご応募ください。

応募先 郵送の場合 〒640-8319 和歌山市手平2丁目1番2号

県民交流プラザ”和歌山ビッグ愛”2階

和歌山県精神保健福祉センター 宛

FAXの場合 073-435-5193

メールの場合 e0503011@pref.wakayama.lg.jp

（詳細は、当センターまで遠慮なくお問い合わせください。HPにも掲載しています。）

平成20年10月1日から、 NHK放送受信料の免除基準が変わります

今までは、免除の適用外だった「精神障害者」の方にも、対象が拡大されます。

免除の種類	適用条件
全額免除	精神障害者福祉手帳をお持ちの方がいる世帯で、 かつ、世帯構成員全員が市町村民税非課税の場合
半額免除 (右に該当する世帯主 が受信契約者の場合)	精神障害者福祉手帳をお持ちで、障害等級が重度 (1級)の方が、世帯主である場合

(NHKのパフレットより対象が精神障害者の場合のみ抜粋)

手続きについては、NHKまたはお住まいの市町村でお確かめください。

NHK和歌山放送局営業部

073-426-7000

受付時間 平日の、午前9時30分～午後6時

和歌山メンタルヘルスニュース

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

○ 精神保健福祉関連新任者研修

精神保健福祉業務に関わる新任者（業務に従事して概ね5年以下の者）を対象に、7月14日（月）と15日（火）の2日間にわたり、ビッグ愛にて開催いたしました。講義内容は、「精神疾患と精神障害の理解」「精神障害者と人権」「障害福祉サービスの提供について」「相談の受け方の実際」でした。福祉施設や医療機関、行政機関職員等73名の参加がありました。

○ 思春期セミナー

8月11日（月）県民交流プラザ和歌山ビッグ愛にて、国立精神・神経センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター・自殺実態分析室松本俊彦室長をお招きして、「思春期の自傷行為の理解と対応」について講演して頂きました。先生の講義は、テーマについて具体的でとてもわかりやすく、興味深く、2時間余りがあっという間に過ぎました。133名の参加者からは「自傷から自殺への移行の様子がよくわかった」「とても具体的な講義で対応がよくわかった」など大好評でした。

○ こころのレスキュー隊隊員養成基礎研修会

基礎研修会はこころの緊急支援活動に必要な基本的知識の取得を目的として、7月28日（月）県民交流プラザ和歌山ビッグ愛、7月30日（水）に田辺市生涯学習センターにて開催しました。両日で教職員や医療関係および行政関係者等による74名の参加がありました。講義内容は、北端所長による「ストレス障害とこころの緊急支援」、臨床心理士会の上野和久副会長による「二次受傷とストレスマネジメント」でした。参加者からは「リラクゼーションを実際に体験できて、よかった」「CRTが心強いシステムであることを初めて知った」という意見が聞かれました。



グリーンケア相談をしています

平成19年10月から、自死（自殺）により大切な人を亡くされた方の、死別による悲しみからの回復をお手伝いするための相談をしています。
予約制で実施しています。

今後の予定

9月18日（木） 10月23日（木） 11月21日（金） 12月25日（木）
1月22日（木） 2月25日（水） 3月12日（木）

いずれも13：00から

予約は当センターあてに電話にてご連絡ください。



073-435-5194

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。
今回は、東牟婁圏域障害者就業・生活支援センター「あーち」で
就業支援ワーカーをされている坂本真一さんです。



はーとふるネットワーク

一 東牟婁圏域障害者就業・生活支援センター「あーち」での勤務はどれくらいになりますか？

平成19年4月に事業が始まったときからなので、ちょうど1年半になります。

一 就業支援ワーカーになられたきっかけは？

法人内の施設で支援員として就業支援を3年間担当していました。その後の人事異動がきっかけで現在の職場で就業支援ワーカーになりました。

一 この仕事をしていて良かったと思う時はどんなときですか？

最初相談に来たときは困っていた方が、笑顔（働いている等）で活動している姿を見たときや、働いている内に遅しくなり、自立していく姿を見ることが出来たときです。

一 仕事で苦勞する点はどのようなことですか？

とにかく職場開拓であり、事業主の方々に障害者の理解を得ることです。その反面、障害を持っている方々に就職の大変さを理解してもらうことも難しい部分です。（簡単に就職を考えている方が少ないため）

一 東牟婁圏域障害者就業・生活支援センター「あーち」のPRを一言お願いします。

精神障害、身体障害、知的障害、発達障害を伴う方で、「働

きたい」という希望のある方や「何らかの理由で仕事を辞めてしまいそう」というような悩みをお持ちの方は是非、「あーち」に連絡して下さい。相談に関する利用料は無料となっています。

対象地域は、新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町、古座川町、北山村等の東牟婁圏域となっています。

現在、就業支援ワーカー2名と生活支援ワーカー1名を配置しています。

就労を希望される方、離職してしまいそうな方、とにかく一度相談に来て下さい。お待ちしております。

一 休日はどのように過ごされていますか？

家族（子供）と遊んでいます。

普段子供と過ごす時間が少ないので、週末は家族サービスすることにしています。

一 今後の抱負を教えてください。

障害者の方の地域での活動や、就労することへの理解が得られるような支援活動を行っていきたいと思います。

一 坂本さんから、次の方のご紹介をお願いします。

地域活動支援センター「どんぐりの家」の山中隆さんです。

研修等のお知らせ

（申込み・お問い合わせは当センターまで）

○ トraumasティックストレスケア研修

① テーマ：心的トラウマの理解とこころのケア

日 時：10月1日（水）14：00～16：00

対 象：精神保健従事者、教育関係者等

② テーマ：JR福知山線脱線事故後のこころのケア

日 時：10月29日（水）14：00～16：00

対 象：①の研修またはPTSD研修等受講した者

場 所：①、②とも和歌山ビッグ愛603会議室

講 師：①、②とも兵庫県こころのケアセンター

副センター長 加藤 寛

○ 精神保健福祉専門研修

日 程：11月26日（水）27日（木）

場 所：和歌山ビッグ愛

対 象：精神保健福祉業務に3年以上従事している者

内 容：家族をどう援助するか

講 師：横浜カウンセリングオフィスHRA所長

水澤都加佐

○ うつ・自殺対策研修

① テーマ：「自殺を考える」

日 程：11月12日（水）13：15～16：15

場 所：和歌山ビッグ愛

講 師：大阪学院大学国際学部 准教授 安田一之

② テーマ：

「自死遺族ケアの実際—死別の悲しみへの援助—」

日 時：12月12日（金）13：15～16：15

場 所：和歌山ビッグ愛

講 師：東京福祉大学 教授 鈴木康明

③ テーマ：「自殺は予防できる」（仮題）

日 程：平成21年1月予定

○ こころの健康講座

日 程：12月7日（日）予定

編集後記

毎回オリンピックが巡りくるたびに、あんなに早く走れるものかと信じられませんが、数々の記録が更新された「北京」も終わり、空が高く秋の気配が感じられるようになりました。今号から初めて「わかやま」を担当させていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。